

2019年度助成分

●2019年度に野村財団の奨学研究員助成を受けて、東京大学大学院法学政治学研究科が行った活動は以下の通りである。

①研究者：李雪明（東京大学大学院法学政治学研究科 博士課程3年）

滞在期間：2016年4月1日～2020年3月31日

研究課題名：東北地方政権の満州朝鮮人支配 - 1920年を中心に -

②研究者：許一堯（東京大学大学院法学政治学研究科 博士課程3年）

滞在期間：2016年4月1日～2020年3月31日

研究課題名：「革命外交」と大国強調 - 17度線を巡る中国の外交史

●2019年度に野村財団の奨学研究員助成を受けて、東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターが行った活動は以下の通りである。

①研究者：Galina Zudenkova (Department of Economics, University of Mannheim · Assistant Professor)

滞在期間：2019年4月15日～2019年4月26日

研究課題名：An Optimal Design of Incentive Scheme for Politicians and Party Members

②研究者：Nathaniel Alan Throckmorton (Department of Economics, College of William and Mary · Assistant Professor)

滞在期間：2019年6月1日～2019年6月7日

研究課題名：ゼロ金利制約下の非線形一般均衡マクロ経済モデルの推定

③研究者：Giacomo Todeschini (Dipartimento di Studi Umanistici, University of Trieste · Professor Emeritus)

滞在期間：2019年9月16日～2019年9月22日

研究課題名：資本主義の源流：中近世ヨーロッパにおける経済思想の発展

④研究者：Christopher Glynn (Department of Decision Sciences, University of New Hampshire · Assistant Professor)

滞在期間：2020年1月8日～2020年1月18日

研究課題名：Sequential modeling and computational strategies for sparse high-dimensional time series data

⑤研究者：Francesco Zanetti (Department of Economics, The University of Oxford · Associate Professor)

滞在期間：2020年1月13日～2020年1月17日

研究課題名：Changes in the effectiveness of fiscal policy: theory and evidence